

アイマスクの商品化支援

加藤アドバイザーによる支援

鈴木 満江

特許情報活用による成果

特許庁から紹介を受けて来訪されたことから支援が始まった

産業財産権取得に向けたサポート

- ◆ 特許電子図書館(IPDL)を利用した先行技術・意匠先願調査の支援
- ◆ 特許、意匠、商標出願書類作成の支援
- ◆ 出願アドバイザーと連携して共同出願端末を利用したパソコン出願の支援
- ◆ 特許庁が実施している支援施策の説明、活用の支援
 - ・無料先行技術調査
 - ・早期審査制度

事業戦略に向けたサポート

- ◆ 特許流通ADと連携して製造・販売・物流に関する協力企業の紹介

知的財産権を活用して信用力向上、取引の安全を図りたい！
後発企業による新規技術の模倣・盗用を防止したい！
特許庁の支援施策を可能な限り活用してみたい！
早期に権利化し、特許流通促進事業を活用したい！

- 特許電子図書館(IPDL)を利用した先行技術調査の手法を指導して欲しい！
- 特許の出願書類を自分で作成できるようにしたい！
- 特許庁支援施策の活用方法を教えて欲しい！

- 特許出願 1件
特許第4253705号
- 意匠登録出願 1件
意匠登録第1367727号
- 商標登録出願 4件
商標登録第5229560号
商標登録第5237719号
商標登録第5237725号
商標登録第5252273号

- ➡ 特許電子図書館(IPDL)の検索方法を習得！
- ➡ 出願書類作成のスキルを取得！
- ➡ 特許庁支援策をフル活用し、約6月で早期権利化を実現！

この支援によって開発・販売された商品

商品名 アイマスク

女性が旅行に行く際に、乗り物等の冷房が強すぎて冷え性になってしまふことがよくあります。また、客席でうたた寝をすると、寝顔や体のラインを他人に見られることが心配になります。

本商品『アイマスク』は、左図のように、アイマスクと上半身を覆うシートがセットになっており、旅行中の女性が、体の冷えや他人の視線を気にせず、客席で安心してリラックスするための商品です。



(A) 表面



(B) 裏面

加藤 革(神奈川県知的所有権センター支部) 特許情報活用支援アドバイザーの一言

本製品を開発した方は、従来から台所用品に関する考案を中心に実用新案登録出願されてきた専業主婦の方です。以前は、ご自分で解説書を読みながら、実用新案登録出願の手続をされていました。偶然の機会から、特許情報活用支援アドバイザーの存在をお知りになったとのことでした。

今回、特許情報活用支援アドバイザーからの助言を参考にしつつ、初めて特許出願に挑戦されました。ご自身も、よく旅行に出かけられるとのことで、自分自身がこれまでの旅行中に不便に思われていた点が『発明の解決課題』でしたが、本製品は開発者ご自身が感じていた不便を解消することができます。

特許流通促進事業を積極的に活用したいとのご希望でしたので、出願手続の支援や無料先行技術調査等の特許庁が実施している支援施策の有効活用を、わかりやすく丁寧に支援させて頂きました。



平成21年9月現在